

一般質問



**アサリ漁業の継続について**

のぐち ただし  
**野口 正 議員** 自由民主党/松阪市選出



**問** 気候変動や栄養塩類の減少、貧酸素水塊の発生などにより、水産物の漁獲量の減少が指摘されています。松阪市ではアサリが獲れない状況が続き、漁業者の経営継続が危ぶまれています。県では、アサリ資源が減少している要因をどう捉え、資源回復に向けどう取り組んでいくのか、お伺いします。

**答** アサリ漁獲量の減少要因は、干潟・浅場の減少、波浪による稚貝流出、貧栄養化等が複合的に関係していると考えています。このため、波浪から稚貝を守る、砕石を用いた浅場造成を進めるとともに、アサリの種苗生産技術の開発に取り組み、令和6年度に約40万個の稚貝を生産し、造成した浅場等に試験放流しました。この稚貝の漁獲量が資源回復の方向性の一つの目的になると考えており、今後も漁業者と連携し、資源回復に取り組めます。

その他の質問事項

- 市町の水道事業運営について
- 伝統工芸の現状について ほか



**5歳児健診導入の考え方**

ひら はた たけし  
**平畑 武 議員** 新政みえ/鈴鹿市選出



**問** 鈴鹿市では、子どもの在籍園で5歳児健診を行うことで、高い受診率を実現しており、3歳児健診では顕在化しなかった支援ニーズの把握、要支援判定の子どもへの早期支援につながっています。子どもに対する切れ目のない支援のための、5歳児健診導入について、県の考えをお伺いします。

**答** 県では、出産後から就学前までの切れ目のない健診の実施を目指し、法律上任意である5歳児健診が全市町で実施されるよう働きかけを行っています。市町からは、「健診実施のための人材確保・育成や健診後の幼児・保護者に対するフォローが課題」との意見がありましたので、市町の保健師を対象とした研修に新たに5歳児健診に必要なスキルを学ぶ内容を盛り込むほか、引き続き、専門家を派遣し助言を行うなど、支援していきます。

その他の質問事項

- 三重県カスタマーハラスメント防止条例（仮称）の制定
- 半導体関連産業の集積 ほか



**国道306号川崎庄内バイパスと鈴鹿亀山道路との接続について**

なが た たかひさ  
**長田 隆尚 議員** 草莽(そうもう)/亀山市選出



**問** 国道306号鈴鹿亀山道路は、鈴鹿四日市道路や新名神高速道路と接続する自動車専用道路です。その本線と、(仮称)川崎下庄線ICに接続する川崎庄内バイパスは、どのように事業を進めますか。また、川崎庄内バイパスは鈴鹿亀山道路と同時に全線開通を目指すのか、お伺いします。

**答** 川崎庄内バイパスは、これまでに道路予備設計、路線測量を実施し、令和7年度は地質調査を行い、今後は道路詳細設計、用地測量、用地買収、工事の順に進めます。加えて、鈴鹿亀山道路のアクセス道となるバイパスの一部と鈴鹿亀山道路を一体として、用地買収を進めます。周辺道路への影響の大きさを考慮し、川崎庄内バイパスと鈴鹿亀山道路の同時期の全線開通を目指しますが、部分開通となる場合は交通安全対策をしっかりと検討します。

その他の質問事項

- 関西本線の利用促進について
- リニア中央新幹線三重県駅について



**市町における個別避難計画作成の支援**

こばやし まさと  
**小林 正人 議員** 自民党県議団/鈴鹿市選出



**問** 市町における個別避難計画の作成は、努力義務である一方、医療・福祉だけではなく防災や地域の知識も必要になり、容易ではありません。避難に支援が必要な方を災害から守るために重要である個別避難計画の作成の浸透について、県がどのように関わり、支援していくのかお聞きします。

**答** 県では、市町の個別避難計画作成が円滑に進むよう、市町の医療・福祉担当者会議で協力を依頼するほか、市町と個別に意見交換を行い、課題に応じて助言を行うとともに、県内外の取り組み事例の共有や、市町が計画作成を団体に委託する際の補助金による支援も行っています。こうした取り組みにより、現在は全市町で計画作成に着手していますので、市町における計画作成が加速するよう、今後もきめ細かな支援を行います。

その他の質問事項

- 訪問看護の重要性について
- 障がい福祉サービスにおける管理者等の人材確保および育休等による減算対策について ほか



**大阪・関西万博開幕から2ヵ月が経過し、見えてきた課題と今後の取り組み**

いげ はら ひろき  
**荊原 広樹 議員** 新政みえ/名張市選出



**問** 大阪・関西万博の開幕から2ヵ月が経過し、多くの方が来場されています。関西パビリオン三重県ブースでは、今後もさまざまな展示が予定されていますが、これまでに見えてきた課題と、その課題に対して今後どのように取り組んでいくのか、お聞きします。

**答** 三重県ブースは、当初予想の2倍近い入場者数で大変盛況である一方、混雑回避・安全確保のため、ブース入り口「時のトンネル」で一時的に待機いただくケースがあります。待機中には、トンネル内の映像の紹介や観光PR等を行っています。また、関西パビリオンを運営する関西広域連合でも、パビリオンへの入場を待つ来場者に対する取り組みが検討されているため、この取り組みとも連携し、来場者の満足度が高まるよう、改善に努めます。

その他の質問事項

- インドネシア訪問の成果と今後の取り組み
- 県庁におけるウェルビーイングの取り組み ほか



**障がいのある生徒や保護者と企業をつなぐ取り組み**

やまうち みちあき  
**山内 道明 議員** 公明党/四日市市選出



**問** 特別支援学校卒業生の進路は、障がいの程度によって幅があり、将来に不安を抱く保護者も多く、より多くの進路情報が求められています。県は昨年、障がい者や保護者が企業と直接意見交換ができる企業説明会を実施しました。その成果や課題と、令和7年度の取り組みについてお聞きします。

**答** 昨年度初めて実施した障がい者向けの企業説明会では、参加者80名が企業担当者と熱心に意見交換しました。開催後、職場見学や実習につながった事例もあり、企業と参加者の双方から継続開催を望む声がありましたので、今年度は3カ所に拡大して開催するとともに、特別支援学校等の障がいのある生徒やその保護者も参加できるよう、教育委員会と連携を図ります。引き続き、障がい者と企業が相互理解を深める機会づくりに取り組めます。

その他の質問事項

- フェーズフリー<sup>5</sup>の視点で防災力の更なる向上を!
- 若者による平和創出への期待